

出資金ふやし頑張ろう!

あかるいまち21

No.1012号 2017年5月15日 組織部 TEL082-532-1264

| | | |
|--------|--------|-------|
| | 5月累計 | 4月 |
| 組合員ふやし | 22人 | 103人 |
| 出資金ふやし | 228万円 | 816万円 |
| 純増 | ▲134万円 | 321万円 |

「子ども食堂・居場所」 シンポジウム開催

4月25日(火)に理事会社保・平和委員会が主催して「子ども食堂・居場所」シンポジウムを行ないました。社会的な関心を呼ぶ「子ども食堂」ということもあって、他団体からの参加も多く、31名の参加者となりました。

今回は、すでに子ども食堂を実践しておられるキリスト教社会館「スペースこむぎ」(西区小河内)とYWCA「カレーパーティー」(東区若草)の責任者の方から日頃の活動についてお聞きしました。

「こむぎ」さんは、運営母体が保育園や児童館を運営されていることもあり、地域に根付いた活動が特徴的で、食事内容にこだわっておられました。

「カレーパーティー」さんは、学生ボランティアなど比較的若いスタッフが軽ろやかに活動されているのが印象的でした。日ごろの活動の中での苦労話や子どもたちの現状と関わり方、そして運営資金と援助金のことなど「ブッチャケ」話も含め、示唆に富んだものでした。何よりも、報告者のお二人とも子どもたちの笑顔や喜んでいる姿にやりがいと誇りと喜びを感じておられることがひしひしと伝わってきました。

参加者には廿日市の社協さんと廿日市地域組合員さん、福山市の生協ひろしまの方と福山医療生協さんなど、人と人を実際に結びつける機会ともなりました。

私たちの生協でもこれを機会にさらに前向きに「子ども食堂」実現に向け、人と人をつなぎ生協らしい居場所づくりを検討していきたいと思えるシンポジウムとなりました。

五月が丘支部総会

4月28日、五月が丘支部総会が開かれ、39人の組合員さんが5丁目集会所に集まりました。

五月が丘支部では、みんなでの食事と、運営委員による手品や歌などの出し物が恒例となっています。議案についても積極的に質問が出たり、くらしに関するアンケートを実施したりと、充実の内容でした。午後の学習会は、葬儀会社より講師をお招きし、エンディングノートと葬儀について実例を交えながら楽しく学び、参加した方も大満足の様子でした。

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合

